

平成29年度 人権に関する県民意識調査

【結果報告書】

平成30年3月



はじめに

愛知県では、平成9年12月に、「人権尊重の愛知県を目指して」の宣言を行うとともに、平成13年2月に策定した「人権教育・啓発に関する愛知県行動計画」に基づき、家庭、地域、学校、職場など、あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進に取り組んでいるところです。

しかしながら、近年の社会の急激な変化の中で、子どもの虐待やいじめ、高齢者への虐待、女性への暴力、インターネット上の人権侵害などに加え、特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動であるヘイトスピーチ、L B G Tなどの性的少数者に対する差別や偏見などの人権問題が出現しています。

また、我が国固有の人権問題である同和問題（部落差別）も依然として存在しています。

こうした中、本県では、県民の皆様の人権に関する意識を把握し、より効果的な人権教育・啓発の実施に向けての基礎資料とするため、平成29年度に人権に関する県民意識調査を実施しました。

この調査は5年ごとに実施しており、今回で4回目となりますが、今回の調査では、社会情勢の変化等に伴い、現状をより把握できるよう調査内容を一部見直しております。

本県といたしましては、調査により把握した人権に関する意識の現状と推移とともに、県民の皆様からお寄せいただいた御意見を、今後の人権教育・啓発に反映させ、人権が尊重され心豊かに暮らせる社会の実現に努めてまいりたいと存じております。

県民の皆様にも人権問題の現状や課題について考えていただくための資料として御活用いただければ幸いです。

おわりに、本調査に御協力いただきました県民の皆様に、心から厚くお礼申し上げます。

平成30年3月

愛知県県民生活部長 鳥居保博

【目 次】

I	調査概要	1
1.	調査目的	2
2.	調査の概要	2
3.	報告書の見方	2
4.	調査対象者抽出方法の概要	3
II	回答者の属性	5
1.	回答者の属性	6
III	調査結果の要約	11
1.	人権意識について	12
2.	女性の人権について	13
3.	子どもの人権について	13
4.	高齢者の人権について	13
5.	障害者の人権について	13
6.	外国人の人権について	14
7.	H I V（エイズウイルス）感染者等・ハンセン病回復者等の人権について	14
8.	犯罪被害者の人権について	14
9.	インターネットによる人権侵害について	15
10.	ホームレスの人権について	15
11.	性同一性障害、性的指向をはじめとする性的少数者の人権について	15
12.	身元調査について	16
13.	部落差別・同和問題について	17
14.	人権尊重の取組について	19
15.	啓発活動への参加、認知について	19

IV 調査結果	21
1. 人権意識について	22
2. 女性の人権について	36
3. 子どもの人権について	39
4. 高齢者の人権について	41
5. 障害者の人権について	44
6. 外国人の人権について	46
7. HIV（エイズウイルス）感染者等・ハンセン病回復者等の人権について	50
8. 犯罪被害者の人権について	54
9. インターネットによる人権侵害について	56
10. ホームレスの人権について	62
11. 性同一性障害、性的指向をはじめとする性的少数者の人権について	64
12. 身元調査について	70
13. 部落差別・同和問題について	76
14. 人権尊重の取組について	98
15. 啓発活動への参加、認知について	100
V 自由回答	105
VI 調査票	107